

第20回 五色百人一首 広島県大会



令和2年2月22日(土)広島県立総合体育館(広島市中区)武道場において、第20回五色百人一首広島県大会を開催いたしました。今年から中学生も参加可能となり、広島県内各地から約200名の児童生徒が集まって熱戦を繰り広げました。

予選リーグ戦では全員が8試合を行い、各色の上位16名が決勝トーナメント戦に出場しました。児童生徒は、日ごろの練習の成果を発揮すべく、真剣なまなざしで試合に臨みました。中には、試合を通して新しく友達ができたという児童もあり、百人一首を通じた仲間との交流の場にもなりました。また、今年も広島紅葉かるた会の方と児童生徒の交流対戦(有段者1名対児童生徒5名)・ガチンコ対戦(有段者1名対児童生徒1名)を行いました。対戦した児童生徒は、有段者から1枚でも札を取ろうと大健闘していました。

■ 衆議院議員 岸田文雄氏はじめ、多くの来賓の方にご臨席いただきました

大会名誉会長、衆議院議員岸田文雄氏はじめ、広島県議会議員の緒方直之氏、石橋林太郎氏、畑石顕司氏、広島市議会議員の定野和広氏に來賓としてご臨席いただきました。



開会式での岸田氏のご挨拶(一部)

百人一首は、日本を代表する古典であり、私たちの国の歴史や伝統、文化におけるかけがえのない宝物です。みなさん一人一人が百人一首に関わり、そして、自ら成長していく。このことが、素晴らしいことではないかと思います。

ぜひ、今日の大会も、みなさんがそれぞれ百人一首に打ち込んできたことを振り返りながら、大会を通じて、みなさん一人一人の成長を実感できる有意義なひと時になることを心から期待しています。

■ 五色百人一首とは

「五色百人一首」とは、百人一首を20枚ずつ五色に色分けしたTOSS(※)オリジナル教材です。このため一試合3分ほどで勝負がつきます。子供達は五色百人一首に熱中し、楽しみながら百人一首を覚えていきます。試合を繰り返すうちにルールを守ることが身につく、男女の仲も良くなります。はじめは泣いて負けを受け入れられなかった子供も、自然と負けを受け入れられるようになります。



(※)TOSS (Teacher's Organization of Skill Sharing)とは？

授業・教育にすぐに役立つ教育技術・指導法を開発し、集め、互いに追試し、検討しあって自らの授業技術を高め、そのような技術や方法を全国の教師の共有財産にしようと努める教師の研究団体です。

TOSS 広島は、TOSS の主張に賛同した広島県内の教師による団体です。指導技量の向上に努めることに加え、「五色百人一首広島県大会」、「五色百人一首教室」、「目指せ!広島県子ども観光大使」、「暑中見舞いの書き方教室」、「年賀状の書き方教室」、「かつお節削り体験」、「コミュニティ脳トレジュニア教室」といった社会貢献活動を通して、児童の健全育成に努めています。(TOSS 広島ホームページ <http://tos-hiroshima.org/>)



■ 大会の様子

■ 札に集中する児童生徒



■ 決勝トーナメント戦



■ 有段者との交流対戦



■ 有段者とのガチンコ対戦



■ 参加児童生徒の感想

- ① 初めて大会に出て、3回しか勝てなかったけれども、これから来年に向けてもっともっと練習して、来年は決勝戦に出たいと思いました。たくさん練習をして、もっと百人一首をおぼえたいと思います。今日のことは良い体験になったと思いました。強くなって百人一首をもっと知ることで、百人一首の楽しさや意味などをこれからほかの人達に教えようと思いました。これからもがんばりたいです。(小学4年生女子)
- ② 中学生になってからも、この大会に参加することができ、とてもうれしいです。予選では良かったけど、決勝トーナメントでは、ぜんぜん取れなかったということがとても心残りです。できれば、他の色でも、中学生が出られたらうれしいです。(中学1年生女子)
- ③ 有段者と交流戦をしたときは、とてもすばやく手が動いて、おどろきました。悔しかったけれど、札が何枚も取れてとてもおもしろかったです。来年は、最後の8人までには残りたいなと思いました。みんなで予選をしているときに、とても学んだこともあったし、楽しかったです。(小学5年生女子)